

2012年6月20日
株式会社損害保険ジャパン

リオ+20で発表
国連環境計画・金融イニシアティブ「持続可能な保険原則」への署名

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、国連環境計画・金融イニシアティブ「持続可能な保険原則」（以下「原則」）の趣旨に賛同し、署名を行いましたのでお知らせいたします。

1. 「持続可能な保険原則」について

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）の主導により、世界の保険セクターとともに策定した保険事業に特化した初めての国際イニシアティブです。

- | |
|---|
| <p>原則1：保険事業の運営や戦略と関連付けて、ESG*課題に積極的に取り組みます。</p> <p>原則2：お客さまやビジネス・パートナーと協力し、ESG課題に対する関心を高め、リスク管理を適切に実施し、解決策を考えます。</p> <p>原則3：政府や規制当局、その他の主な利害関係者と協力し、共同行動によってESG課題に対応することを促進します。</p> <p>原則4：原則実施の進捗状況を定期的に公開し、説明責任と透明性を実現します。</p> |
|---|

*ESG：環境（Environmental）・社会（Social）・ガバナンス（Corporate Governance）をいいます。

2. 「持続可能な保険原則」策定の経緯

原則の策定にあたっては、UNEP FI加盟の保険会社、パートナー機関が連携して検討を行ってきました。2011年には草案検討のために地域会議が開催され、世界のさまざまなセクターからの意見を集約し、原則が策定されました。損保ジャパンは2011年から「持続可能な保険原則チーム」に参画し、原則策定に向けて積極的に役割を担ってきました。

3. リオ+20における発表

本原則は2012年6月19日に、ブラジル・リオデジャネイロで開催中の「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」において、国際保険学会およびブラジル保険連盟によって正式に発表されました。損保ジャパンは本原則設立時の署名会社として、会長の佐藤正敏が記者会見において原則の推進に向けた意志表明をしました。



損保ジャパンは引き続き、社会の変化やリスクに対して予防策や解決策など幅広いソリューションを提供することを通じて、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

以上